

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズデイサービスらくだ 竹尾店			公表日	令和 8 年 3 月 26 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		簡易机や仕切りを使用したり、活動の時間差を作ったり、密になり過ぎないように工夫しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準を満たすだけでなく、職員同士で連携を取り、安全に見守りができるよう人員を配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚支援で絵カード、テープなどで構造化された環境作りを行うと共に、障害特性に応じて担当職員が付き添い、安全性に配慮しております。	施設内外に段差があるため見守りを強化しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		心地よく過ごせるように消毒や掃除を活動前後に行うと共に、整理整頓を意識する活動も取り入れております。	マットやカーペットなど長年使用している物の新調を検討していきたいと思ひます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋は誰でも使用できることを皆さんに伝えて、提供しております。	可動式の仕切りを使用してクールダウンできるスペースを作り、より良い環境にしていきたいと思ひます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		全職員でミーティングを行い、情報共有しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		頂いた意見や要望を全職員で把握し、ミーティングで話し合い、業務改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な職員の面談や毎日のミーティング時に意見を聞く機会を設けている他、ミーティング時以外でも『報連相』できる環境作りを努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			評価していただく機会は少ないので、見学等の案内をして評価の機会を増やしていきたいと思ひます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修の年間計画を作成し、社内研修や外部研修を受講しています。今年度からは毎月の動画形式の研修受講だけではなく、AEDや汚物処理等の実践的な研修も行っております。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員間で話し合いを行い作成して、公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々の記録を元に課題やニーズを把握して、作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成する際には職員間で話し合い、意見を出し合いより良い計画になるよう工夫しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		新しく作成した時には全職員に共有して、計画に沿った支援を行っております。	パート職員等は確認する時間や機会が少ない為、情報共有を工夫し、目標の達成に向けた支援を行えるよう努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		記録ツール（HUG）を用いて記録を元にアセスメントを行っております。標準化されたツール（Vineland II・S-M）を導入し始めております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		子どもたちの特性や能力に合わせた支援内容やスケジュール、環境を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		過去の活動予定なども参考にしながら、職員同士で意見を交わし工夫しながら立案しております。	

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個別活動や集団活動が固定化しないよう同じ内容でもアプローチを変えたり、季節に合わせたものを取り入れたり、職員間でアイデアを出し合っております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動の準備として個別活動の時間に作業課題を行ってもらうなど組み合わせ支援をしております。また、個別活動ではその日にできなかった作業は次回以降もチャレンジできるよう継続的な支援もしております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、ミーティングの時間を設定しています。それ以外にも、職員が個々に役割などを確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		当日に打ち合わせができない時には翌日に共有しています。また、共有した内容をノートにまとめて、不在の職員とも共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録ツール（HUG）を用いて職員間で共有できるように日々の記録をしております。ミーティングにて検証・改善に繋げております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		記録を振り返りながら計画の見直しを行い、達成度を見極めております。	より広く職員間で話し合い、より良い計画にしていきたいと思います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		図書館や公園、地域イベントに出向いたり、芋掘り体験を実施したりなど地域交流と余暇を組み合わせながら支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		個別活動や余暇活動では職員が決めるのではなく、児童の皆さんに選択してもらい場面や機会取り入れていくことを心掛けております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が必ず参加するようにしております。	他の職員も参加できる機会を設けていきたいと思います。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校の見学や教育機関との連絡を密に取るだけでなく、リハビリ機関や学校見学に出向き、連携強化に努めております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時やお迎え時に学校での様子やらくだ内での様子を伝えあい、より良い支援に繋げております。また、送迎時間の調整などにも協力いただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		今年度はご利用前に保育所を訪問したり、情報をお聞きしたりする機会があり、不安なく通えるように努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		今年度は対象者がいなかったため、昨年度は開催時には共有する情報をまとめて、参加させていただきました。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		機会があれば、RISEやJOINの実施している研修を各職員が受講しています。	受講する機会をより増やしていきたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		焼き芋パーティーの際には系列店や他事業所を招待して交流する機会がありました。また、主に学休日にはお出かけ先として地域のイベントに参加させて頂くこともありました。	まだまだ機会は少ないので、増やせるよう計画していきたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や面談の際に直接お伝えする機会を設けております。また、支援ツール（HUG）を活用してオンライン上で情報提供も行っております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援内容が家庭での状況の改善に繋がるよう、支援者の観点と育児経験者等の観点から支援方法を提案させて頂いております。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		面談時に必要な資料を用意し、丁寧な説明を行なえるよう努めております。	
	36	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談時にご本人、保護者の方のご意向を確認しその意向に沿って計画を作成しております。	
	37	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		原案の段階でご意向や内容に相違がないかを確認し、同意を得ております。	

保護者への説明等	38	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		他の福祉サービスの提案や過去の実例などを交えて、見学や送迎時に相談があった場合には助言を行い、その場での返答が難しい場合には職員間で話し合いをして助言や支援を行うよう努めております。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		来年度こそは保護者会を開催できるよう努めて参ります。	
	40	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			マニュアルに沿って、迅速に対応できるように努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			支援ツール（HUG）を用いて、日々の活動の様子や行事予定を発信しております。	頻度や機会を増やして情報発信に努めて参ります。また、ホームページのリニューアルも検討しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報は鍵付きのロッカーに保管し、取り扱いに十分注意しております。また、個人が特定されないようHUGやホームページなどは職員同士で入念にチェックしております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			絵カードや筆談、タブレット端末等を使用して発語以外の意思の疎通、情報伝達に配慮しております。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			他事業所のイベントに参加したり、事業所でのイベントに他事業所を招待する機会がありました。（焼き芋や高齢者施設への訪問等）また、地域の方に活動の理解を得ながらゴミ拾いを行いました。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			毎月避難訓練を実施し、実施した時には周知に努めております。また、汚物処理等の感染時の訓練もマニュアルに沿って行っております。	曜日が偏らないよう、全児が参加出来るよう実施して参りたいと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			訓練以外にも非常時の備品の点検を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			どんな発作でどんな時になりやすいかなど保護者の方々から情報をいただき、職員間で共有し対応できるようにしております。てんかん発作等のマニュアルを送迎車にも用意して、職員間で共有しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			アレルギーのある方の一覧を作成し掲示して職員間で共有や確認できるようにしております。おやつは家庭で用意していただいたものやアレルギー物質が含まれていない物を提供しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全管理のため消防署の方にも定期的に確認して頂いております。さらに避難経路や避難バックの中身など職員間で点検もしております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			訓練を実施した時には避難先や連絡手段を保護者の方に周知するよう努めております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ヒヤリハットがあった時には報告書を作成し、改善案などを職員間で話し合い、再発防止に努めております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			必ず毎年虐待防止研修を実施しております。また、毎月事例が無かったのかを職員同士で報告する時間を設けて防止に努めております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			身体拘束にならないような支援を行なうことを前提に職員間で共通認識としておりますが、やむを得ない場合を想定して保護者の方に説明を行い、同意を頂いております。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズデイサービスらくだ 竹尾店		
○保護者評価実施期間	2025年 11月19日		2025年 12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	2025年 12月1日		2025年 12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者、学校など関係機関と密な情報共有がしやすい関係を築いている。	・成長した事だけではなく、今の課題なども伝えることで保護者の方々、関係機関と連携した支援に繋げている。 ・送迎時には特定の職員だけが対応するのではなく、様々な職員が対応することで信頼関係の構築に繋がっている。 ・文化祭や体育祭などの学校行事には積極的に参加、見学するようにしている。	・ご利用時に発信している活動記録の内容を今以上に充実させていく。
2	・ご利用者様への支援の幅が広がり、充実してきていることで『利用したい!』というお声を頂いている。	・様々な職種や経験のある職員が在職しており、多角的な視点からアイデアを出し合い、支援の工夫を続けている。 ・中高生を対象として社会的自立に向けた調理や清掃などの職業訓練を実施している。 ・長期休みに就労継続支援B型事業所でのお仕事体験を実施して実際の現場を経験してもらった。	・研修受講や資格取得をして支援スキルの向上を図る。 ・一人一人に合った支援ツールを職員間で考え、充実させていく。

3	<ul style="list-style-type: none"> ・お出かけ、外出の機会が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の場でのルールやマナーなどの社会経験や買い物体験での金銭感覚を養うための実践を行っている。 ・集団で出かけることで集団の中での行動の練習に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出先のバリエーションを増やしていく。
---	---	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流の機会がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の機会を提供できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会を開催する。 ・全体での保護者会以外にも学校ごとや年代ごとの小グループ等での開催を検討していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、他事業所との交流が少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流方法のアイデアが中々生まれなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事イベントを調べて参加する。 ・外部研修を受けることで他事業所との関わりを生み、交流に繋がっていききたい。 ・今以上に事業所周りのゴミ拾いを実施して地域の方に周知してもらう。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信力や内容（活動内容、職員体制、マニュアル関連、研修等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な研修受講の意識不足や、情報発信の頻度や工夫が足りなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の情報を収集して積極的に受講していく。 ・避難訓練や日々の取り組みなど、情報量のアップや見て頂けるような工夫をしていきたい。